

# 第3章 環境指標の把握と評価

## 第4節 地盤沈下



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 JAさいかつ賞 早稲田小学校 滝澤 真菜 さん



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 生活協同組合コープみらい賞 八木郷小学校 小島 久実 さん

## 第 4 節 地 盤 沈 下

### 1 地盤沈下調査

#### 地盤沈下変動量

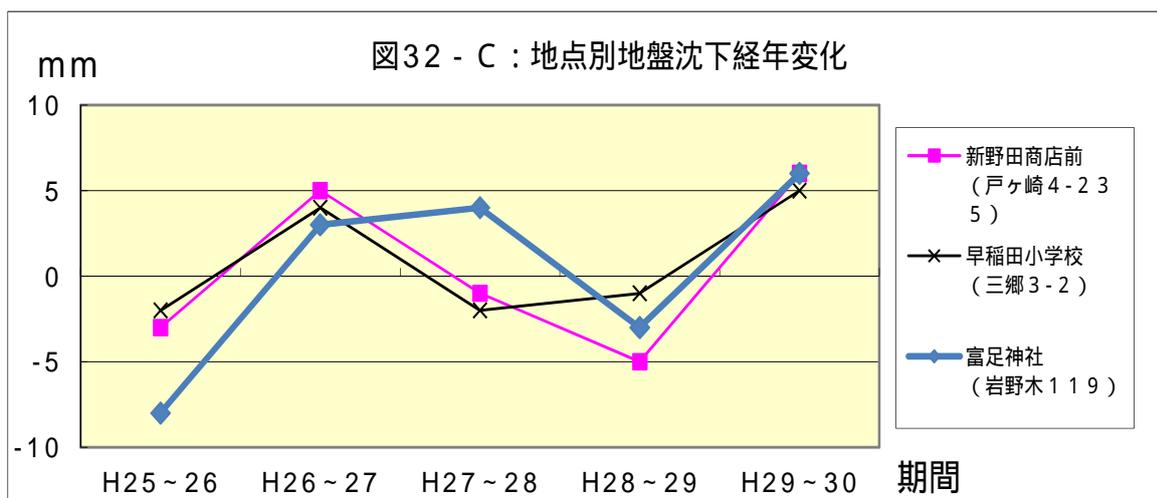
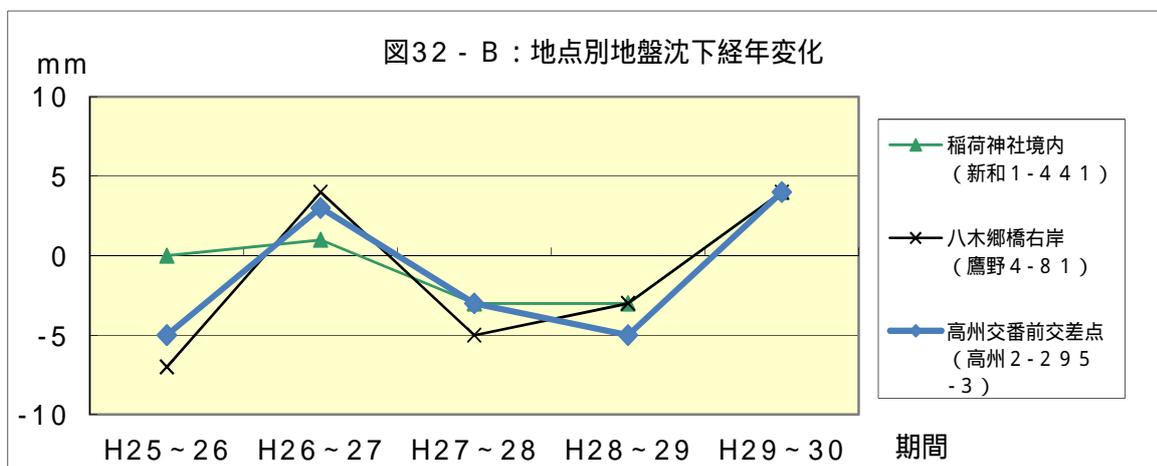
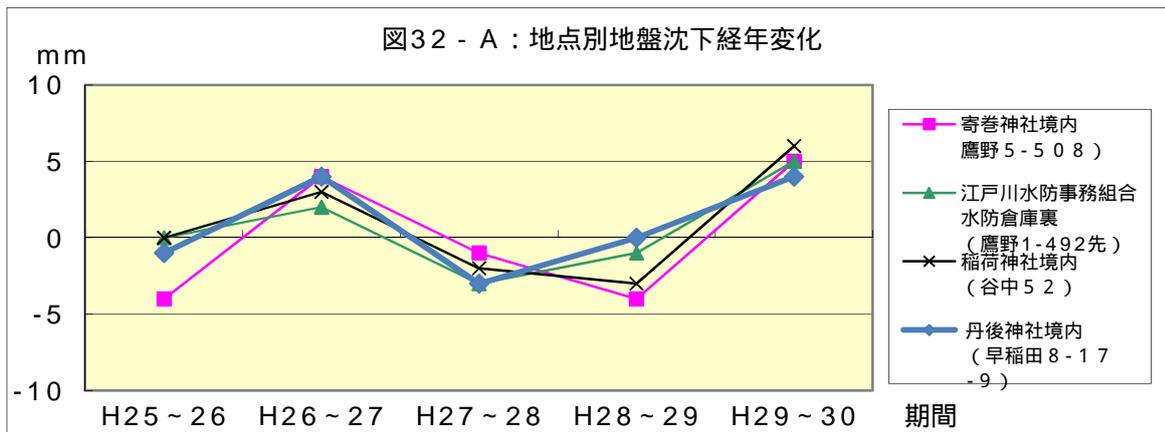
三郷市の地盤沈下に係る調査は、埼玉県が市内 10ヶ所の地点で測量調査を行なっている。その調査結果は表 32 及び図 32-A・B・Cのとおりである。

地盤沈下変動量 [ 単位 : mm ] (表 32)

(埼玉県地盤沈下調査報告書)

基準番号	目標・所在地	調査開始	調査開始時の真高	H27 ~28	H28 ~29	H29 ~30	過去5年間の 変動量	調査開始か らの変動量	H30.1.1 の真高(m)
68	寄巻神社境内 (鷹野 5-508)	S36.2.1	2,750	-1	-4	+5	+0.7	-974.1	1.7533
69	江戸川水防事務組合 水防倉庫 (鷹野 1-492 地先)	S36.2.1	2,041	-3	-1	+5	+2.6	-909.5	1.6478
70	稻荷神社境内 (谷中 52)	S36.2.1	2,360	-2	-3	+6	+3.1	-1001.1	1.3347
11104	丹後神社境内 (早稲田 8-17-9)	S36.2.1	2,672	-3	0	+4	+3.0	-126.9	2.5210
11106	稻荷神社境内 (新和 1-441)	S36.2.1	2,980	-3	-3	+4	-0.7	-1025.3	1.9312
11107	八木郷橋右岸 (鷹野 4-81)	S36.2.1	2,371	-5	-3	+4	-6.2	-780.4	1.5670
11108	高州交番前交差点 (高州 2-295-3)	S36.2.1	3,295	-3	-5	+4	-5.3	-427.5	2.6054
11109	新野田商店前 (戸ヶ崎 4-235)	S36.2.1	2,645	-1	-5	+6	+1.7	-803.0	1.8201
59	早稲田小学校 (三郷 3-2)	S58.1.1	2,380	-2	-1	+5	+3.2	-42.0	2.3137
11105	富足神社境内 (岩野木 119)	S36.2.1	3,295	+4	-3	+6	+1.9	-220.4	3.0334

過去5年間の変動量は、それぞれ各年度の変動量について、小数点以下も含めた実数を合計した後、各年度については再度小数点第1位で四捨五入しているため誤差が生じている箇所もある。





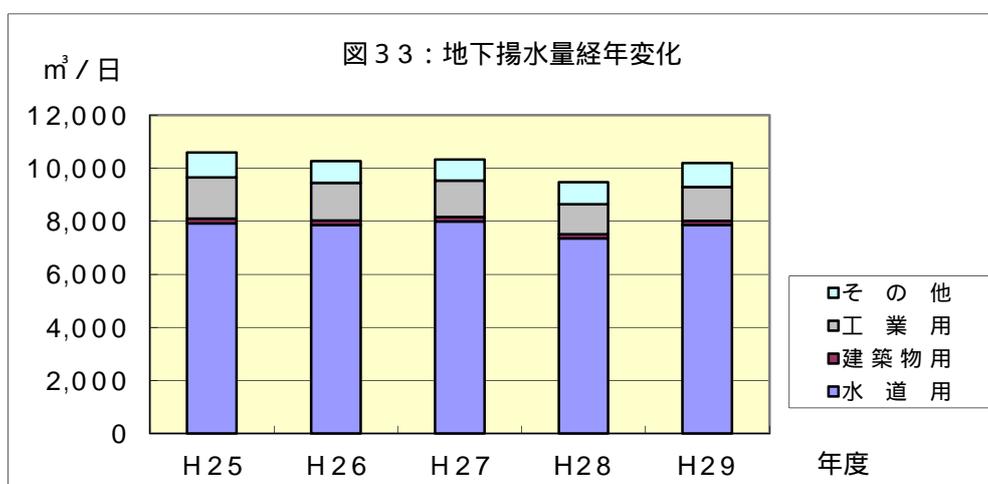
## 地下水揚水量

地下水揚水量は、表 33 及び図 33 のとおりである。

水道用 7,857m<sup>3</sup>/日、工業用 1,270m<sup>3</sup>/日、建築物用 160m<sup>3</sup>/日、その他 908m<sup>3</sup>/日で、計 10,195m<sup>3</sup>/日である。前年度に比べると、全項目で増加した。

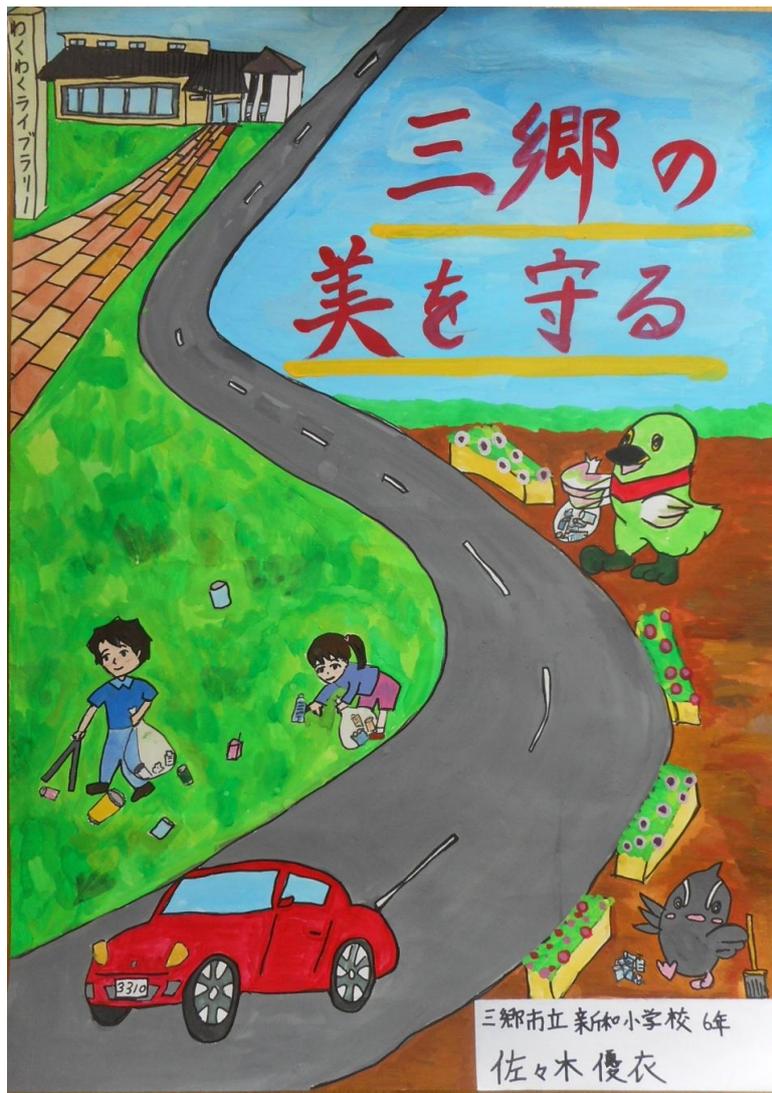
地下水揚水量経年変化（表 33）[単位：m<sup>3</sup>/日]

項目・年度	27年度	28年度	29年度
水道用	7,993	7,354	7,857
建築物用	161	147	160
工業用	1,370	1,133	1,270
その他	806	834	908
計	10,330	9,468	10,195



# 第3章 環境指標の把握と評価

## 第5節 苦情処理状況



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 三郷市環境保全協力会賞 新和小学校 佐々木 優衣 さん

## 第 5 節 苦 情 処 理 状 況

### 苦情処理の概要

苦情処理件数（表34及び図34参照）は、年間で375件あり、このうち、典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）についての苦情が148件、その他が227件である。

近年は、騒音と振動等、複合型公害の苦情が増加傾向にあり、騒音や振動を発生する施設や作業を行う事業者の近隣住民への十分な配慮が求められている。

その他の苦情については、ほとんどが雑草の繁茂によるものであり、あき地の所有者や管理者の適正な管理が求められている。

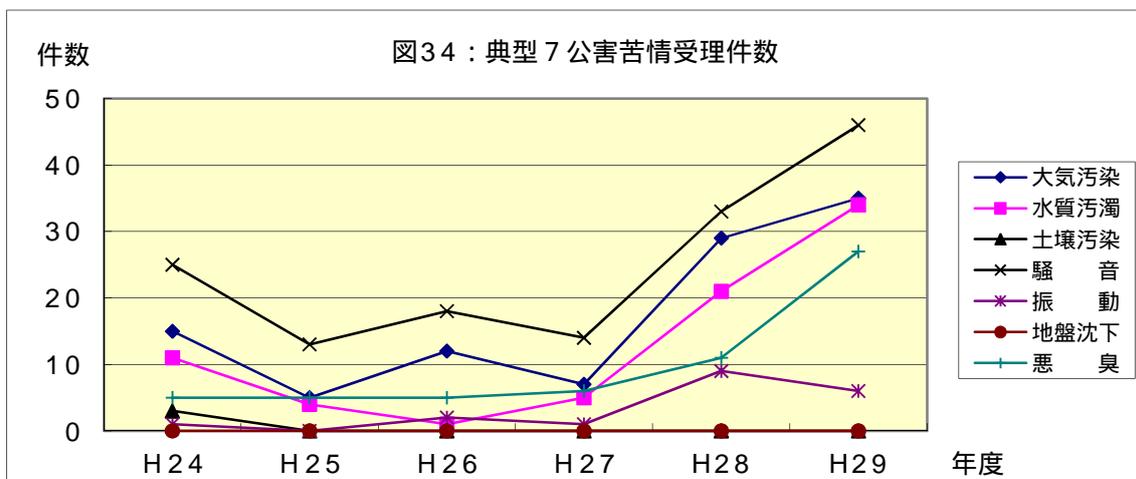
年度別苦情処理件数 [ 単位：件 ] (表 34)

項目・年度		27年度	28年度	29年度
典型7公害	大気汚染	7	29	35
	水質汚濁	5	21	34
	土壌汚染	0	0	0
	騒音	14	33	46
	振動	1	9	6
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	6	11	27
その他	87	174	227	
合計	120	277	375	



野外焼却の現場の様子

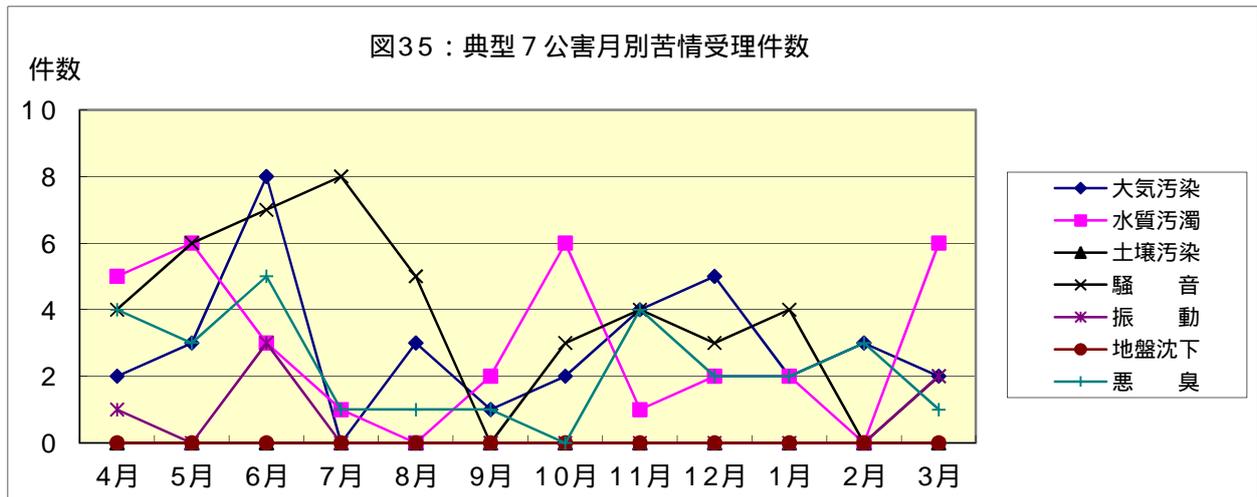
平成28年度から集計方法を変更



月別苦情処理件数(表35及び図35参照)をみると、3月から7月くらいにかけて苦情が多く、年始には少ないという傾向がわかる。また、データの取り方を変更し、軽微な苦情も計上しているため、全体的に増加の傾向がみられた。

月別苦情件数(表35)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	2	3	8	0	3	1	2	4	5	2	3	2	35
水質汚濁	5	6	3	1	0	2	6	1	2	2	0	6	34
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒音	4	6	7	8	5	0	3	4	3	4	0	2	46
振動	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	4	3	5	1	1	1	0	4	2	2	3	1	27
その他	37	30	22	37	11	16	15	13	9	2	7	28	227
合計	53	48	48	47	20	20	26	26	21	12	13	41	375



# 第3章 環境指標の把握と評価

## 第6節 ダイオキシン類



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 東京ガス株式会社東部支店長賞 前間小学校 山下 伶 さん

# 第 6 節      ダイオキシン類

## 1 環境基準等

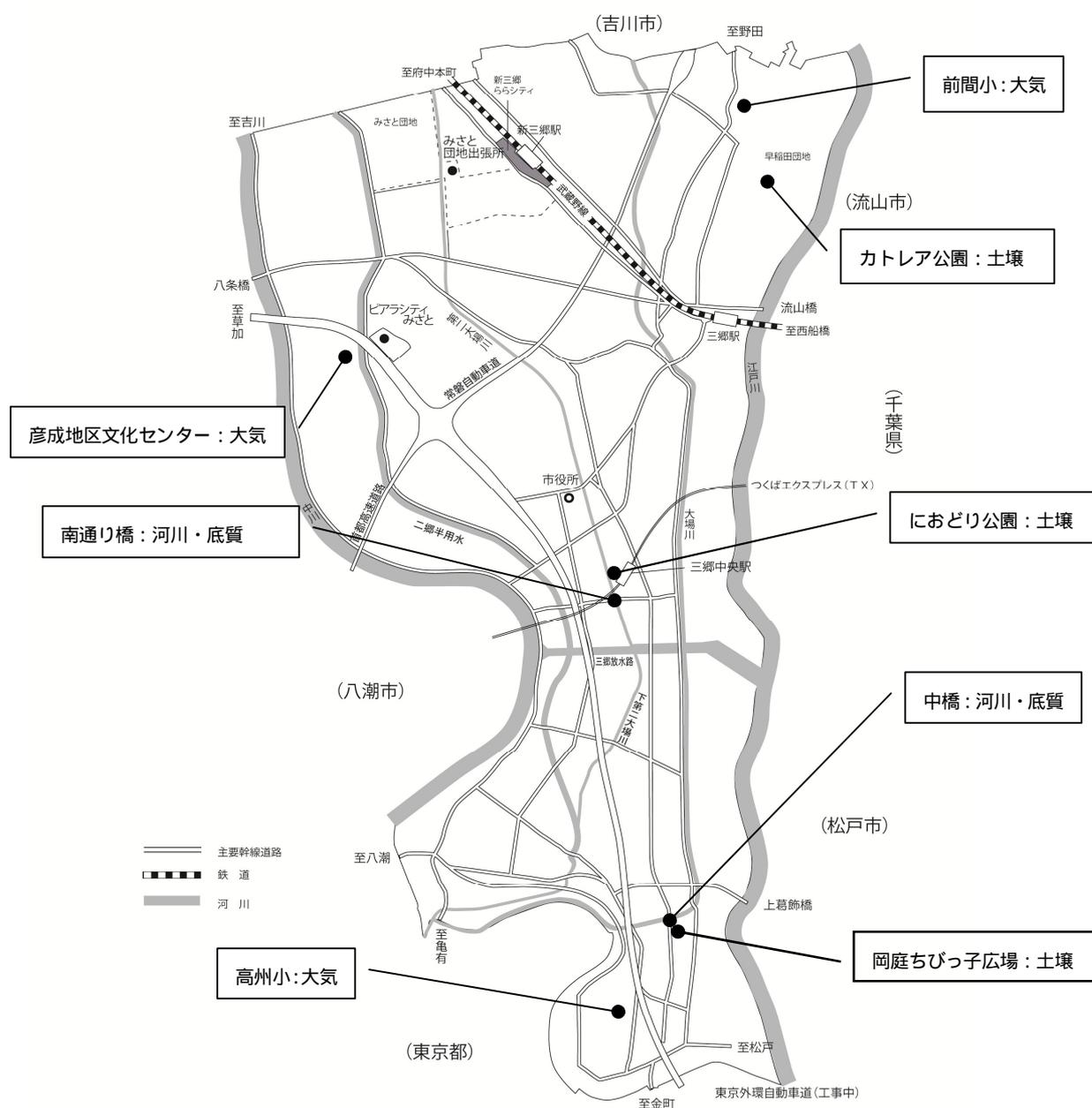
### 環境基準値

ダイオキシン類については、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められています。

環境項目	環境基準値	環境項目	環境基準値
大気 (pg-TEQ / m <sup>3</sup> )	0.6 以下	河川水 (pg-TEQ / ㎖)	1 以下
土壌 (pg-TEQ / g)	1,000 以下	河川底質 (pg-TEQ / g)	150 以下
耐容 1 日摂取量 (pg-TEQ / 体重 kg / 日)	* 4		

注：pg (ピコグラム) = 1 兆分の 1

### ダイオキシン類測定地点図 (平成 29 年度)



## 2 ダイオキシン類の調査

### 大気の測定結果と評価

大気中のダイオキシン類調査を3地点で各2回行なった。(ダイオキシン類測定地点図参照)

3地点における測定値は、0.016～0.044pg-TEQで、いずれも環境基準値である0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>を下回っており、すべての地点で環境基準を達成していた。(表36参照)

ダイオキシン類(大気)測定結果 [単位: pg-TEQ/m<sup>3</sup> (ピコグラム)](表36)

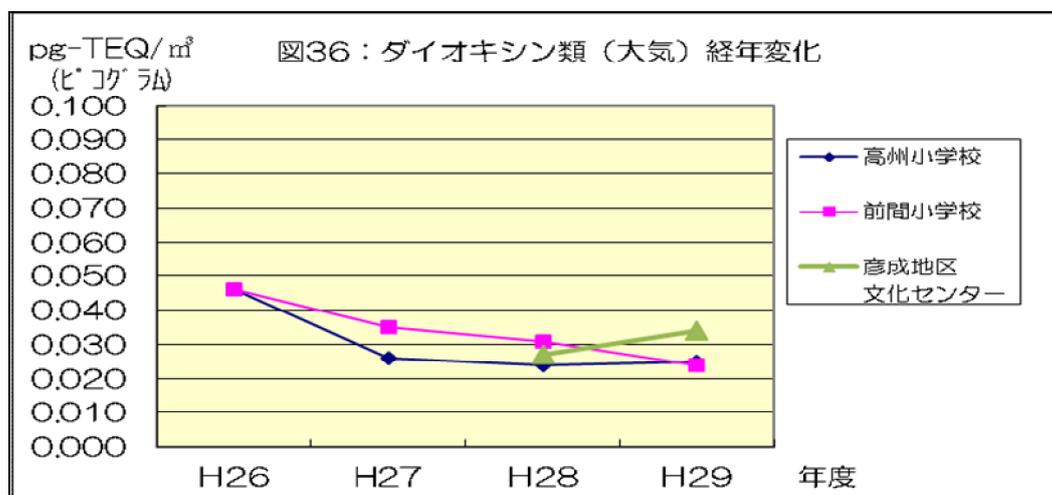
地点/年月	H29 8/24~8/31	H30 1/24~1/31	年平均
高州小学校	0.016	0.033	0.025
前間小学校	0.017	0.031	0.024
彦成地区 文化センター	0.023	0.044	0.034



分析機関での分析の様子

ダイオキシン類(大気)経年変化 [単位: pg-TEQ/m<sup>3</sup> (ピコグラム)](表37)

地点 / 年	H26	H27	H28	H29
高州小学校	0.046	0.026	0.024	0.025
前間小学校	0.046	0.035	0.031	0.024
彦成地区文化センター			0.027	0.034



### 土壌の測定結果と評価

土壌中のダイオキシン類調査を3地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

3地点における測定値は、0.048～4.6pg-TEQ/gで、いずれも環境基準値である1,000pg-TEQ/gを大幅に下回っており、すべての地点で環境基準を達成している。(表38参照)

ダイオキシン類(土壌)測定結果[単位:pg-TEQ/g(ピコグラム)](表38)

地点/年	H27	地点/年	H28	地点/年	H29
よまき公園	8.3	におどり公園	8.3	におどり公園	2.5
彦成公園	1.8	戸ヶ崎 みなみ公園	3.9	岡庭 ちびっ子広場	0.048
さつき平 ふれあい公園	0.011	白鳥公園	0.22	カトレア公園	4.6

### 河川底質の測定結果と評価

河川底質中のダイオキシン類調査を大場川及び第二大場川の各2箇所、2地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

測定値は、2.5pg-TEQ/g、51pg-TEQ/gで、2地点とも環境基準である150pg-TEQ/gを大幅に下回っており、環境基準を達成している。(表39参照)

ダイオキシン類(河川底質)測定結果[単位:pg-TEQ/g(ピコグラム)](表39)

地点/年	H27	地点/年	H28	地点/年	H29
八木郷橋 (大場川)	6.3	中橋 (大場川)	55	中橋 (大場川)	2.5
第二彦糸橋 (第二大場川)	23	南通り橋 (第二大場川)	9.9	南通り橋 (第二大場川)	51

### 河川水の測定結果と評価

河川水中のダイオキシン類調査を、大場川及び第二大場川の各1箇所、2地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

測定値は、南通り橋(第二大場川)で0.58pg-TEQ/lで環境基準値1pg-TEQ/lを下回っていたが、中橋(大場川)において、環境基準値を0.1pg-TEQ/l超過していた。

なお、中橋(大場川)においては、基準超過となってしまったが、平成28年度と比較して0.5pg-TEQ/l改善された。(表40参照)

ダイオキシン類(河川水)測定結果[単位:pg-TEQ/g(ピコグラム)](表40)

地点・年	H27	地点・年	H28	地点・年	H29
八木郷橋 (大場川)	0.87	中橋 (大場川)	1.6	中橋 (大場川)	1.1
第二彦糸橋 (第二大場川)	0.98	南通り橋 (第二大場川)	0.97	南通り橋 (第二大場川)	0.58

